



2025年5月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年1月14日

上場会社名 Post Prime株式会社 上場取引所 東
コード番号 198A URL <https://corp.postprime.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 高橋 ダニエル 圭
問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレートグループ リーダー (氏名) 羽鳥 有紀彦 TEL 03(6758)7255
半期報告書提出予定日 2025年1月14日 配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年5月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年6月1日～2024年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 中間純利益 | |
|-------------|-----|---|------|---|------|---|---------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2025年5月期中間期 | 449 | - | 147 | - | 145 | - | 86 | - |
| 2024年5月期中間期 | - | - | - | - | - | - | - | - |

(注) 包括利益 2025年5月期中間期 86百万円 (-%) 2024年5月期中間期 -百万円 (-%)

| | 1株当たり 中間純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益 |
|-------------|----------------|---------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年5月期中間期 | 8.61 | 8.24 |
| 2024年5月期中間期 | - | - |

- (注) 1. 当社は、2025年5月期中間期より中間連結財務諸表を作成しているため、2024年5月期中間期の数値及び2025年5月期中間期の対前年中間期増減率については記載していません。
2. 2025年5月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、当社は2024年6月20日付で東京証券取引所グロース市場に上場したため、新規上場日から2025年5月期中間期の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-------|-----|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2025年5月期中間期 | 1,292 | 996 | 76.9 |
| 2024年5月期 | - | - | - |

(参考) 自己資本 2025年5月期中間期 993百万円 2024年5月期 -百万円

(注) 当社は、2025年5月期中間期より中間連結財務諸表を作成しているため、2024年5月期の数値については記載していません。

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年5月期 | - | 0.00 | - | 0.00 | 0.00 |
| 2025年5月期 | - | 0.00 | - | - | - |
| 2025年5月期（予想） | - | - | - | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年5月期の連結業績予想（2024年6月1日～2025年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|---|------|---|------|---|---------------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 1,136 | - | 307 | - | 331 | - | 217 | - | 21.51 |

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 2025年5月期第2四半期（中間期）より中間連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。また、連結決算開始に伴う通期業績への影響は軽微であるため、既存の個別業績予想数値を連結業績予想数値といたします。
3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2024年6月19日付で払込完了した公募増資（ブックビルディング方式による募集）による新株式の発行100,000株を含めた期中平均発行済株式数により算出しております。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 （社名）PostPrime Trading 株式会社（TakaTrade 株式会社に商号変更）

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2025年5月期中間期 | 10,100,000株 | 2024年5月期 | 10,000,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2025年5月期中間期 | 一株 | 2024年5月期 | 一株 |
| ③ 期中平均株式数（中間期） | 2025年5月期中間期 | 10,090,164株 | 2024年5月期中間期 | 一株 |

(注) 2024年5月期中間期については中間財務諸表を作成していないため、期中平均株式数を記載しておりません。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|-----------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当中間期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当中間期の財政状態の概況 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 中間連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 中間連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 | 5 |
| 中間連結損益計算書 | 5 |
| 中間連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (会計方針の変更に関する注記) | 8 |
| (会計上の見積りの変更に関する注記) | 8 |
| (中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) | 8 |
| (セグメント情報等の注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |

1. 経営成績等の概況

当社は、当中間連結会計期間より中間連結財務諸表を作成しているため、前中間会計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っておりません。

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の鎮静化による社会経済活動の正常化が進み、緩やかな回復傾向である一方で、ロシア・ウクライナ危機の長期化や、エネルギーや食料品を中心とした物価の上昇、世界的な金融資本市場の変動等の影響によって、依然として先行きが不透明な状況が継続しております。

このような状況の下、当社グループでは、中長期的な企業価値の向上と持続的成長の実現に向け、当社グループが主力事業として運営するSNS「PostPrime」を中心として、より多くのユーザーに利用していただけるようにするため、ユーザーにとって魅力的かつ有益な新機能や新サービスの開発に継続的に取り組んでおります。

このような取り組みの結果、当中間連結会計期間における売上高は、449,627千円、営業利益は147,982千円、経常利益は145,127千円、親会社株主に帰属する中間純利益は86,863千円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当中間連結会計期間より、報告セグメントを従来の単一セグメントから「金融・経済情報プラットフォーム事業」「取引プラットフォーム事業」の2区分に変更しております。

①金融・経済情報プラットフォーム事業

当中間連結会計期間においては、プライムPlus、IZANAVIをリリースいたしました。プライムPlusでは、各クリエイターが複数のプライム登録価格を設定し、それぞれのプライム登録者に対し異なるコンテンツを提供することを可能とします。また、IZANAVIでは、AIが機械学習した過去のマーケットデータに基づくチャートパターン等の情報をユーザーに提供する機能です。これらにより、SNS「PostPrime」の有用性・利便性を一層高め、当社グループのサービスをより幅広く活用いただくことを目指してまいります。

この結果、売上高は449,627千円、営業利益は166,097千円となりました。

②取引プラットフォーム事業

取引プラットフォーム事業は当中間連結会計期間より開始した新規事業であり、2024年10月にP o s t P r i m e T r a d i n g株式会社（現、T a k a T r a d e株式会社）を設立し、取引プラットフォームの調査及び運営に向けた開発を開始いたしました。

この結果、営業損失は23,315千円となりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間連結会計期間末における資産合計は1,292,342千円となりました。その主な内訳は、現金及び預金904,265千円、有価証券211,805千円、預け金55,049千円であります。

（負債）

当中間連結会計期間末における負債合計は295,669千円となりました。その主な内訳は、契約負債156,914千円、未払法人税等58,264千円、未払金49,483千円であります。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は996,672千円となりました。その主な内訳は、利益剰余金951,102千円、資本金21,700千円、資本剰余金20,700千円であります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は1,125,699千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において営業活動により使用した資金は、45,482千円となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益145,127千円に、コイン引当金の減少額15,419千円、売上債権の増加額17,972千円、契約負債の減

少額16,419千円、未払金の減少額25,969千円、未払消費税等の減少額20,967千円等を調整し、法人税等の支払額96,839千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において投資活動により使用した資金は、1,934千円となりました。これは、主に保証金の差入による支出1,730千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において財務活動により獲得した資金は、41,400千円となりました。これは、株式の発行による収入41,400千円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2024年10月の子会社設立に伴い、2025年5月期第2四半期（中間期）決算より連結決算に移行しております。2025年5月期の通期の連結業績予想の詳細につきましては、本日（2025年1月14日）開示しております「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

| | | 当中間連結会計期間 (2024年11月30日) |
|--------------|--|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | | 904,265 |
| 売掛金 | | 43,248 |
| 仕掛品 | | 2,901 |
| 有価証券 | | 211,805 |
| 前渡金 | | 2,805 |
| 前払費用 | | 13,117 |
| 未収収益 | | 960 |
| 未収入金 | | 792 |
| 預け金 | | 55,049 |
| 仮払金 | | 4,358 |
| その他 | | 1,245 |
| 流動資産合計 | | 1,240,549 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 工具、器具及び備品 | | 8,500 |
| 減価償却累計額 | | △4,562 |
| 有形固定資産合計 | | 3,938 |
| 投資その他の資産 | | |
| 差入保証金 | | 3,630 |
| 長期前払費用 | | 132 |
| 繰延税金資産 | | 44,091 |
| 投資その他の資産合計 | | 47,854 |
| 固定資産合計 | | 51,792 |
| 資産合計 | | 1,292,342 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | | 17,161 |
| 未払金 | | 49,483 |
| 未払費用 | | 132 |
| 預り金 | | 3,788 |
| 未払法人税等 | | 58,264 |
| 未払消費税等 | | 9,413 |
| 契約負債 | | 156,914 |
| コイン引当金 | | 511 |
| 流動負債合計 | | 295,669 |
| 負債合計 | | 295,669 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | | 21,700 |
| 資本剰余金 | | 20,700 |
| 利益剰余金 | | 951,102 |
| 株主資本合計 | | 993,502 |
| 新株予約権 | | 3,170 |
| 純資産合計 | | 996,672 |
| 負債純資産合計 | | 1,292,342 |

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位:千円)

| | 当中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日) |
|-----------------|---|
| 売上高 | 449,627 |
| 売上原価 | 50,598 |
| 売上総利益 | 399,029 |
| 販売費及び一般管理費 | 251,046 |
| 営業利益 | 147,982 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 88 |
| 有価証券利息 | 4,856 |
| 雑収入 | 502 |
| 営業外収益合計 | 5,447 |
| 営業外費用 | |
| 為替差損 | 8,302 |
| 営業外費用合計 | 8,302 |
| 経常利益 | 145,127 |
| 税金等調整前中間純利益 | 145,127 |
| 法人税等 | 58,264 |
| 中間純利益 | 86,863 |
| 親会社株主に帰属する中間純利益 | 86,863 |

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

| | 当中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日) |
|----------------|---|
| 中間純利益 | 86,863 |
| 中間包括利益 | 86,863 |
| (内訳) | |
| 親会社株主に係る中間包括利益 | 86,863 |
| 非支配株主に係る中間包括利益 | — |

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| | 当中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日) |
|-------------------------|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税金等調整前中間純利益 | 145,127 |
| 減価償却費 | 1,218 |
| コイン引当金の増減額(△は減少) | △15,419 |
| 受取利息 | △4,944 |
| 為替差損益(△は益) | 8,302 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △17,972 |
| 棚卸資産の増減額(△は増加) | △582 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 835 |
| 預け金の増減額(△は増加) | △300 |
| 預り金の増減額(△は減少) | 502 |
| 契約負債の増減額(△は減少) | △16,419 |
| 未払金の増減額(△は減少) | △25,969 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | △20,967 |
| その他の流動資産の増減額(△は増加) | △6,517 |
| その他の流動負債の増減額(△は減少) | △418 |
| 小計 | 46,476 |
| 利息及び配当金の受取額 | 4,880 |
| 法人税等の支払額 | △96,839 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △45,482 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △204 |
| 保証金の差入による支出 | △1,730 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,934 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 株式の発行による収入 | 41,400 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 41,400 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △6,509 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △12,526 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,138,225 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 1,125,699 |

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

従来、所得等に対する法人税、住民税及び事業税等(以下、「法人税等」という。)について、法令に従い算定した額を損益に計上することとしておりましたが、所得に対する法人税等について、その発生源となる取引等に応じて、損益、株主資本及びその他の包括利益に区分して計上することとし、その他の包括利益に計上された法人税等については、当該法人税等が課される原因となる取引等が損益に計上された時点で、これに対応する税額を損益に計上することといたしました。

なお、課税の対象となった取引等が、損益に加えて、株主資本又はその他の包括利益に関連しており、かつ、株主資本又はその他の包括利益に対して課された法人税等の金額を算定することが困難である場合には、当該税額を損益に計上することとしております。

当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

(会計上の見積りの変更に関する注記)

当社が運営するSNS「PostPrime」において、登録ユーザーに付与したコインの利用に備えるため、将来利用されると見込まれる額をコイン引当金として計上することとしております。

前事業年度までは、コインを付与するというサービスが開始されてからの期間が短かったこともあり、コイン失効の実績データが不足していたため、コイン残高の全額を計上しておりましたが、当中間連結会計期間において、コイン失効の実績データが十分に把握可能となったため、コイン残高の全額からコイン失効の見込額を控除した金額を計上する方法に変更いたしました。

これにより、当中間連結会計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前中間純利益はそれぞれが2,194千円増加しております。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当中間連結会計期間(自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-------------------|-------------------|--------------|---------|--------------|-------------------------------|
| | 金融・経済情報プラットフォーム事業 | 取引プラットフォーム事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 449,627 | — | 449,627 | — | 449,627 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 449,627 | — | 449,627 | — | 449,627 |
| セグメント利益又は損失(△) | 166,097 | △23,315 | 142,782 | 5,200 | 147,982 |

(注) 1. セグメント利益の調整額5,200千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

ユーザーに対して情報提供の枠を超えた新たな価値の提供を行うことを可能とする取引プラットフォームの調査及び運営に取り組む目的で、2024年10月1日に100%出資の子会社を設立しており、当中間連結会計期間から、報告セグメントとして「取引プラットフォーム事業」を新設しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年6月20日付で東京証券取引所グロース市場に株式を上場いたしました。この上場にあたり、2024年6月19日を払込期日とする一般募集による新株式の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ20,700千円増加しております。

この結果、当中間連結会計期間末において資本金が21,700千円、資本剰余金が20,700千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。